

清泉大学(仮称)農学部開設に係る現状報告

◆校舎建設工事

大学からは「中東情勢等による資材調達面への影響に留意しつつ、大学及び施工者において早期発注等の対応を行っており、現時点では12月の完成を目指して計画どおり進んでいる」との報告を受けている。



工事写真（6月4日撮影）

◆オープンキャンパスと市民講座

日 程	内 容
6月13日(土)	オープンキャンパスの開催 会場:市役所 301 会議室 他 参加者:約 90 名参加(学生、保護者) ※県外からの参加あり 内容:模擬授業、個別相談等
6月 14 日(日)	プレ・オープン市民講座 会場:市役所 301 会議室 参加者:約 100 名参加(学生、保護者、地域住民等) ※市外からの参加者あり 内容:基調講演、パネルディスカッション ・基調講演①「改正食料・農業・農村基本法について」 ～食料の安定供給の確保と、農業の持続的な発展・農村の振興について考える～ 講師:北村浩二先生(農業経営学/関西国際大学経営学部教授) ・基調講演②「作物の病気-パラダイムシフト-」 講師:曳地康史先生(植物病理学/高知大学農林海洋科学部/清泉大学農学部教員就任予定者) ・基調講演③「千曲市の将来展望と清泉大学農学部に期待すること」 講師:千曲市 小川修一市長 ・パネルディスカッション「農・食・地域の未来と共に考える」 パネリスト:5名(上記3名に加え、下記2名) 藤田智之先生(信州大学名誉教授/清泉大学農学部学部長就任予定者) 北澤文康氏(千曲市ワインぶどう研究会会長/北澤農園園主) モデレーター:木村喜昭氏(学校法人清泉女学院事務局次長) 地域住民の方に、農学についてや、農学部が地域発展にどのような貢献が期待されるか、などについて理解を深める機会となった。



◆連携事業の検討状況

- 市と農学部が取り組む「連携事項」と、市内各種団体を含めた「連携体制・組織化」を明確にするため、これまでの「産官学連携パートナーシップ協定」に加え、新たに農学部との協定締結を行う方向で検討中。仮協定締結済み(R8.6.24)。
- 締結式は、農学部設置認可があり農学部事務局が設置された後に行う。(予定日:R8.9.16)
- 現在、協定内容の精査、連携体制の組織化に向けた市内各種団体の選定等について、大学と協議を進めている。
- 現時点で想定している市内各種団体は、
 - ・千曲市商工会議所 ・戸倉上山田商工会 ・信州千曲観光局
 - ・ものづくりネット千曲 ・千曲市ワインぶどう研究会 ・千曲市棚田保全推進会議
 - ・NPO 法人あんずの里振興会 ・ながの農協 など(変更の可能性あり)
- 各団体を通じ、市内事業者・農業者等からの意見集約、大学からの情報提供等を行う予定。
- 大学及びプロジェクトチーム関係課と連携し、各団体への呼びかけ等を行う予定。(7～8月)

◆実習農地の確保(賃貸借)の状況

- 開設時に必要な農地は概ね確保の見通しが立った。
- 確保(賃貸借)見込みの農地面積は、校舎周辺の杭瀬下、栗佐地区で 3,743.5 ㎡。
- 大学では、7月又は8月の農業委員会へ農地法第3条の申請を行う予定で進めている。
- 姨捨棚田の棚田貸します制度も活用していく予定(No.78 区画 158 ㎡)。
- 今後、2、3、4年生と学生が増えていくと必要になる農地も増える見込みのため、引き続き大学と連携し確保を行う。